

記憶と記録で紡ぐ あなたの大熊町

大熊町社会教育複合施設
第2回ワークショップ

本日のアジェンダ

10:00 オープニング・注意事項説明

10:05 教育総務課ごあいさつ

10:15 社会教育複合施設の検討状況ご報告

10:25 ワークショップ説明

10:30 ワーク① 頭の体操 ー制作前の準備ー

ー「誰に」対して、大熊町の「何を」話したい・伝えたいですかー

10:40 ワーク② 制作タイム

ー大熊町について話したいこと・伝えたいことを表現してみてくださいー

11:00 デーブル内発表会

11:25 クロージング

11:30 ワークショップ終了

※12:00までは会場オープン予定です

注意事項とお願い

- ✓ 本日のワークショップは写真撮影を行い、大熊町のホームページにて一部を公開する予定です。
- ✓ お飲み物は自由に持ち込み、お摂りください。食べ物については会議室内での摂取はお控えいただきますようお願いいたします。
- ✓ シールにフルネームのお名前（ふりがな）を記載し、見えるようにお示しください。
- ✓ 本会議室および指定された化粧室以外の庁舎内への立ち入りはご遠慮ください。

教育総務課からのごあいさつ

社会教育複合施設：検討状況ご報告①

●大野駅西口エリア開発状況



(左) 社会教育複合施設は大野駅に近い位置に配置される予定です。



(右) 産業交流施設は令和6年度内の開設に向けて整備計画中 ※絵は設計者によるイメージ案

社会教育複合施設：検討状況ご報告②

●社会教育複合施設 第1回ワークショップご報告

開催日：2022年5月28日（土）

テーマ：**本と文化財と歴史公文書で何ができる？**

ワーク①あなたと大熊町のつながりを教えてください

ワーク②本、文化財資料、歴史公文書をあなたはどのように使いますか？

結果概要はテーブル上の資料をご参考ください。

大熊町ホームページにも詳細の報告資料が公開されております。

社会教育複合施設：検討状況ご報告③

●大熊町社会教育複合施設の方針

利用者が **大熊で学ぶ** 場となる

大熊町に関する資料や情報、人材等を集積し、来訪者が大熊を知り、共有し、自分たちの暮らしやまちに活かしていく学びと交流の拠点

- ✓ 大熊の歩みや現状を学ぶ
- ✓ 大熊で、大熊の人と学ぶ

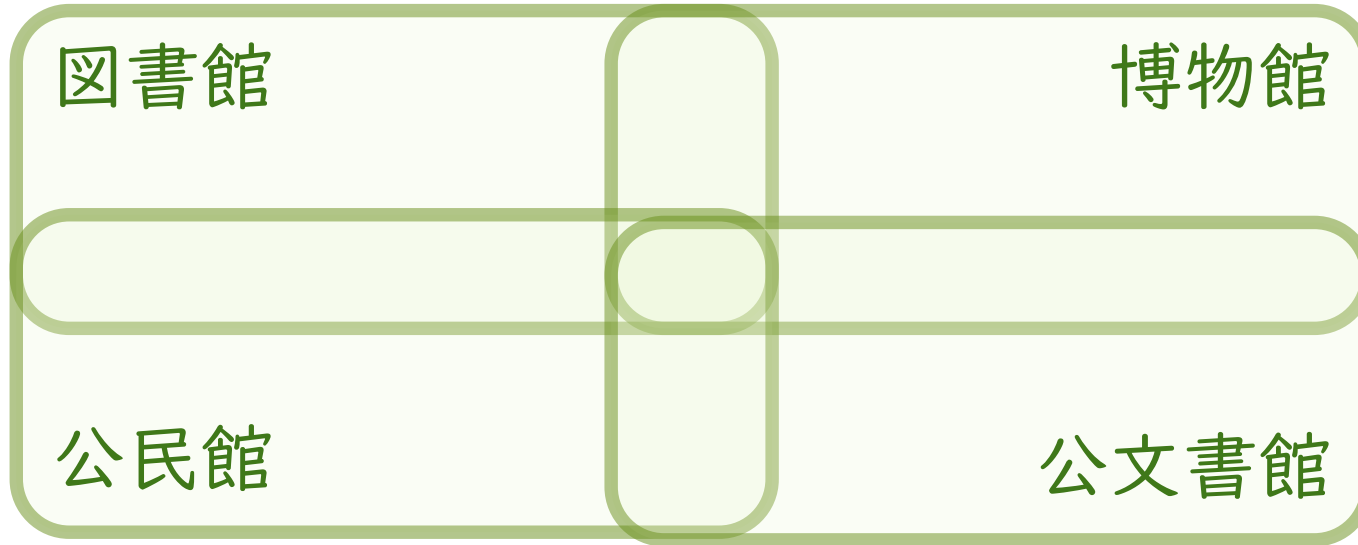
利用者が **大熊の記憶と記録をつなぐ** 場となる

ふるさと大熊に対する町民の思いを預かり、現在の町民、未来の町民をはじめ、町に関わる人たちにつなげていく拠点

- ✓ 町にゆかりのある人たちが思いを託す
- ✓ 未来の町民が土地のルーツを知り、つなぐ

社会教育複合施設：検討状況ご報告③

- 大熊町社会教育複合施設が「複合施設」であることの意義



学びの媒体が異なる機能の融合

資料や学習方法の多様化

一元的な資料集積による研究や連携の円滑化

より多くの人々の関心や目的に応えられる

提供できる社会教育活動の充実化

ワークショップのご説明

ワーク① 頭の体操 約10分

- 「誰に」対して、大熊町の「何を」話したい・伝えたいですか-
- ※ワーク5分+テーブルメンバー自己紹介&ミニ発表5分

ワーク② 制作タイム 約20分

- 大熊町について話したいこと・伝えたいことを表現してみてください-

テーブル内発表会 約25分

お1人3分発表+質問時間

ワークショップの狙い

- ◆ 本日制作いただいた成果物は整備後の施設で保管し、展示することも想定しています。
(デジタル保管も検討したいと思っております)
- ◆ 同じテーマでのワークショップなどを今後も開催し、記憶と記録の蓄積を行っていきたいと考えています。

ワークショップのご説明

ワーク①チェックイン（頭の体操） ワーク5分＋自己紹介1分ずつ

「誰に」対して、大熊町の「何を」話したい・伝えたいですか

- ◆ お手元の付箋に「誰に」「何を」を書き、テーブル上に張ってください。
- ◆ 「誰」は特定の人でも複数の人でも、不特定多数の人でも構いません。
- ◆ できるだけ色々なタイプの「誰に」を設定し、伝える・話すシーンも想像しながらお書きください。
- ◆ できるだけたくさんの付箋をかいてみてください。
- ◆ このあとの制作タイムも想定しながらワークしてみてください。
- ◆ もし、大熊町について伝えたいことが見つからない場合、「私が／に」大熊町について「知りたい」「伝えてほしい」ことをお書きください。
- ◆ 自己紹介をしながら、ご自身が書いた中から1つご紹介ください。

〇〇〇へ

大熊町の（私の）



伝えたい・話したい

ワークショップのご説明

ワーク②制作タイム ワーク20分

大熊町について話したいこと・伝えたいことを表現してみてください

- ◆ テーブル上の好きな材料を使い、話したいこと・伝えたいものを表現してください。
- ◆ 何枚制作いただいてもかまいません。
- ◆ 「大熊町のアルバム」は掲載のもののコピーは可能です（新たな検索は不可）。
- ◆ テーブル上にないものでほしいものがあれば、近くのスタッフにご相談ください。
- ◆ お席を立ったり、会議室外に出ていただいたもかまいませんがワーク②終了時間までには必ずお戻りください。
- ◆ 裏面にお名前と、将来的に完成した複合施設において制作物の公開の可否、および氏名公開の可否について記載をお願いします。
- ◆ 原則は大熊町にて保管します。持ち帰りご希望の方はコピーを取らせていただきます。

ワークショップのご説明

テーブル内発表会 お1人約3分 + 質問・意見交換タイム

制作したものについて「誰」を想定しながらお話し・お伝えください

- ◆ 他の方の発表の際にはぜひ耳を傾けてください
- ◆ 他の発表者から「共感」や新しい大熊町の「発見」があれば質問・意見交換タイムでお伝えください。
- ◆ 他のテーブルの制作物はワークショップクローズ後に巡回してみていただく時間を設けております

クロージング

大熊町社会教育複合施設の計画はまだ始まったばかりです。

これからも皆さまの多くの視点やご意見を取り入れながら

愛される施設

誇りとなる施設

成長しつづける施設

となれるよう推進していきたいと思っております。

これからもワークショップへのご参加をお待ちしております。

本日は貴重なお時間をいただき
ありがとうございました。

会場は12時まで開放しております。

他テーブルの作品をご覧いただいたり、参加者皆さま同士の交流のお時間としてもご活用ください。